

## 同族会社等の判定に関する明細書

同族会社等の判定に関する明細書		事業年度 又は連結 事業年度	.	.	法人名	別表二
同族会社	期末現在の発行済株式の総数又は出資の総額 (19)と(21)の上位3順位の株式数又は出資の金額 株式数等による判定 $\frac{(2)}{(1)}$	1 内 2 3 %	特定同族会社	(21)の上位3順位の株式数等による判定 $\frac{(11)}{(1)}$	【No.3】当事業年度に適用される別表を使用していますか。 12 %	令四・四・一以後終了事業年度又は連結事業年度分
	期末現在の議決権の総数 (20)と(22)の上位3順位の議決権の数による 議決権の数による $\frac{(5)}{(4)}$	4 内		(22)の上位1順位の議決権の数 13 %		
	【No.10】17欄が50%超、かつ、当事業年度終了の時における資本金の額若しくは出資金の額が1億円超である場合又は一若しくは完全支配関係のある複数の大法人に発行済株式等の全部を保有されている場合等、別表三(一)を作成・添付していますか。	17	社員の数による判定 $\frac{(15)}{(7)}$	16 %		
			特定同族会社の判定割合 (12)、(14)又は(16)のうち最も高い割合	17	特定同族会社 定 結 果 18 同族会社	

【No.10】17欄が50%超、かつ、当事業年度終了の時における資本金の額若しくは出資金の額が1億円超である場合又は一若しくは完全支配関係のある複数の大法人に発行済株式等の全部を保有されている場合等、別表三(一)を作成・添付していますか。

【No.11】貸借対照表に自己株式を計上している場合、その自己株式数を1欄の内書に記載し、その記載した数を3欄及び12欄において分母から除いて割合を算出していますか。

【No.3】当事業年度に適用される別表を使用していますか。

令四・四・一以後終了事業年度又は連結事業年度分

## 判定基準となる株主等の株式数等の明細

【No.9】21欄又は22欄に記載すべきものを19欄又は20欄に記載していませんか。

また、同一の株主グループに含めて判定すべき法人株主を他の株主グループとしていませんか。